

岐阜県の森林・林業

森もり林のたより

岐阜県立森林文化アカデミーでは、
オープンキャンパスを開催。

No.768
2017 September

9

FREE

ご自由にお持ちください。



●全国各地からオープンキャンパスに来ていただきました。10月から入試出願が始まります。詳しくはWEB (www.forest.ac.jp) をご覧ください。

編集・発行 公益社団法人 岐阜県山林協会

E-mail sanrinag@quartz.ocn.ne.jp

<http://www.g-forestry.or.jp> (公社) 岐阜県山林協会の情報をご覧ください。

開催日	行事名等	内容等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	開催場所 問い合わせ先
8月1日(火)~ 9月7日(木)	平成28年度 岐阜県緑化運動 ポスターコンクール 入賞作品展示	平成28年度岐阜県緑化運動ポスターコンクールに おける入賞作品40点を展示 ●入場料: 無料 ●時間: 飛騨高山まちの博物館の開館時間	飛騨高山まちの博物館 (高山市上一之町75番地) ----- 岐阜県林政部恵みの森づくり推進課 TEL 058-272-1111 (代表) FAX 058-278-2702
9月30日(土)~ 10月1日(日)	ぎふの木フェスタ 2017	●子どもから大人まで丸ごと1日「ぎふの木」に親し み、楽しめるイベントです。 ●開催時間: 10:00~16:00 ●内容: 木のおもちゃ広場、木の国探検「巨大迷 路」、子どもアスレチック、子ども上棟式、木工ク ラフトなどの体験イベントを開催します。また、ぎ ふの木ビンゴ大会、丸太いす大抽選会や木工品 などの販売を行います。 ●入場料: 無料	岐阜メモリアルセンター 「芝生広場」 (岐阜市長良福光) ----- 岐阜県林政部県産材流通課 TEL 058-272-8486 FAX 058-278-2705
10月~11月	清流の国ぎふ 親子「森・川・海」 体験ツアー (秋コース)	●内容: 自然体験・活動を通して、流域の環境につ いて親子で学ぶツアーです。 ●対象: 小・中学生と保護者 ●定員: 24名~40名(コースにより異なります) ●参加費: コースにより異なります ●参加申込: 電話、FAXまたはWebサイトから	岐阜県 ----- 名鉄観光サービス(株) 岐阜支店 TEL 058-265-8103 FAX 058-263-5059 Web「名鉄観光 清流の国ぎふ」で検索 【9月15日(金)から受付開始】
10月2日(月)~ 10月17日(火)	平成30年度 森林文化アカデミー 入学試験(第1回) 願書受付期間	●森と木のエンジニア科(推薦入試) 10月28日(土) ●森と木のクリエイター科(入試1) 10月29日(日) ●入学願書(学生募集要項)については、ホーム ページ(http://www.forest.ac.jp/)からダウン ロードできます。	森林文化アカデミー (美濃市曾代88) ----- 森林文化アカデミー TEL 0575-35-2525 FAX 0575-35-2529 E-mail info@forest.ac.jp URL http://www.forest.ac.jp/



目次 Contents

イベントカレンダー(一般向け).....	2
ぎふの木フェスタ2017.....	3
「第42回東海地区みどりの少年団サマーキャンプ」を 開催しました.....	3
山の歳時記(145) ミヨウガ.....	4
魚つき保安林の指定.....	5
白山白川郷ホワイトロードの紅葉.....	5
森林と人を活かす知恵(57) 日本の木の家ってどんな家? シリーズ..『森林・環境税』で緑豊かな清流の国ぎふづくり(5) 山のおしやまむし(314).....	6
暴走老人、ブナカイガラタマバエ.....	7
わかまちの森林・環境行政(9) 大野町の木育づくり.....	8
地域の人 これからの林業を担う若者達.....	9
木の香るぎふの施設(57) ほほえみ栄町.....	10
普及コーナー 次世代型林業架線研修を開催しました.....	11
研究コーナー.....	12
崩壊危険地がわかりやすい地図を道づくりに活用する(その2) 治山・林道研究課題.....	13
既設谷止工における一考察.....	14
国有林の現場から(12).....	15
コンテナ苗研修会を開催しました.....	16
伐採作業をされるみなさまへ.....	17
電気事故防止のお願い!!.....	17
林業者向けお知らせ.....	17
市況.....	18

岐阜県の森林・林業 News of the forest

森もりのたより

No.768 9
2017 September

表紙 ● オープンキャンパス参加者の様子。

子どもから大人まで丸ごと1日「ぎふの木」に親しみ、楽しめるイベント

ぎふの木フェスタ2017

開催日 **9/30(土) 10/1(日)** **来場無料**

木のおもちゃ広場、木の国探検「巨大迷路」、子どもアスレチック、子ども上棟式、木工クラフトなどの体験イベントを開催します。また、ぎふの木ビンゴ大会、丸太いす大抽選会、ぎふの木の家相談コーナーや木工品などの展示・販売を行います。

開催時間 **10:00 ~ 16:00**

場所 **岐阜メモリアルセンター「芝生広場」**

主催 **岐阜県**

共催 (公社)岐阜県山林協会、岐阜県森林組合連合会、岐阜県木材協同組合連合会、(公社)岐阜県緑化推進委員会、岐阜県木材利用推進協議会、(一社)岐阜県森林施業協会、岐阜県林業グループ連絡協議会

お問い合わせ

岐阜県林政部県産材流通課

〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1 TEL.058-272-8486 [ぎふの木フェスタ](#) [検索](#)



「第42回東海地区 みどりの少年団 サマージャンボリー」 を開催しました

東海三県のみどりの少年団が一堂に集い、自然の中での野外活動を通じて、緑の大切さを学ぶとともに、相互の交流と親睦を深め、規律・協同・奉仕の心を養うことを目的に、8月2日から4日にかけて、三県から9団73名のみどりの少年団員が参加して、「第42回東海地区みどりの少年団(隊)サマージャンボリー」(国土緑化推進機構、三菱UFJ環境財団、愛知県・三重県・岐阜県の各緑化推進委員会主催)を愛知県新城市「愛知県民の森」で開催しました。

- 一日目(8月2日)
開会式、班旗づくり、
飯盒炊爨(カレーライス作り)、
森の話・葉っぱカルタ
- 二日目(8月3日)
ウォークラリー、丸太伐り、
川での水遊び、キャンプファイヤー
- 三日目(8月4日)
記念写真撮影、思い出の寄せ書き、閉会式



集合写真



カレーライスづくり



葉っぱカルタで遊ぼう



ウォークラリー



丸太伐り



川での水遊び



キャンプファイヤー

三日間の共同活動を通じて、みどりの少年団のみんなは、はじめは恥ずかしそうにしていたが、終わってみれば打ち解けて、団員の交流と絆が深まり、夏休みの良い思い出になったと思います。

岐阜県からは、海津市みどりの少年団、北方小学校みどりの少年団の2団24名が参加しました。引率者・カウンセラー・県の職員の皆様、モリトピア愛知、愛知県・三重県緑化推進委員会など関係の皆様には大変お世話になりました。来年は三重県で開催されますので、みどりの少年団の皆様のご参加をお待ちしています。

公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 専務理事 黒崎 隆司



文：樹木医・日本森林インストラクター協会 理事 川尻 秀樹

「ギャー、何この赤い気持ち悪いもん」ミヨウガが群生する林地で赤い果実を見つけた人が叫びました。

花茎を食用とするミヨウガは、小型で6〜7月に花をつけるものは夏ミヨウガ、大型で8月〜9月に花をつけるものは秋ミヨウガと呼ばれます。花茎は地下茎から直接発生し、赤紫に染まった苞葉の間から、淡黄色で薄く半透明な一

日花を咲かせます。

ミヨウガは地下茎による栄養体繁殖が主体で、人が生活していた場所以外では見られないとも言われます。

一般に生物の染色体は、母親由来の1組と父親由来の1組が組み合わさった2倍体(2n)が基本です。しかしミヨウガはこれが5組からなる5倍体(5n)であるため、受精しても親と同じ数の染色体数になることができず種子ができません。こうした理由から中国東南部原産のものが、シヨウガとともに持ち込まれ、香りの強い方を「兄香(セウカ・シヨウガ)」、弱い方を「妹香(メウカ・ミヨウガ)」と呼び分けて、栽培されてきたと考えられています。

しかし高湿度条件下などが揃うと、ごく稀に結実して果実をつけることがあり、群生地で見つけた「赤い」正体は裂開した果実で、その中に白い仮種皮に包まれた黒色

の種子があるのです。

ところで辞書によっては、ミヨウガの意味として「おろかな人、愚鈍な人」と書かれているものがあり、他にも野菜を取り引きする市場では符丁に「バカ」と書きます。これは「茗荷を食べると物忘れする」という迷信があるためで、お釈迦様の弟子の一人であった周梨槃特(しゆりはんどく)に由来します。周梨槃特は物忘れが激しく、首にかけてある自分の名前を書いた名札があることも忘れてしまう人でしたが、彼のお墓から生えてきた草があり、その草を一生自分の「名前」を「荷って」苦労した「茗荷」と呼ぶようになったという言い伝えに由来します。

ミヨウガにはマツやスギにも含まれるα-ピネンやβ-ピネンという香り成分もあり、ミヨウガの精油成分が大脳皮質を刺激して覚醒効果をもたらすため、逆に集中力を増し、他にも解熱や解毒、食欲

増進、血液循環にも効果があります。

落語の『茗荷宿』では「欲張りな宿屋の主人が、宿泊客の旅荷物目当てに、荷物を忘れるよう夕食にミヨウガを出しますが、結局、宿泊客が宿代を支払うのを忘れて行った。」という落ちで終わります。物忘れが激しくなった私も、大好きなミヨウガを食べ過ぎて、迷信のようなことにならぬよう心がけたいものです。



▲赤い果実の中に、白い仮種皮に包まれた黒色の種子がある

魚つき保安林の指定

■ 魚つき保安林とは

魚が生息しやすい環境をつくるため、指定地内の樹木の伐採を制限することにより、水生昆虫類の餌となる落ち葉などの供給や、樹木や下草が地表を覆うことによる水質の濁り防止、さらには水面へ木陰をつくり水温の上昇を抑制するなどの効果を期待するものです。

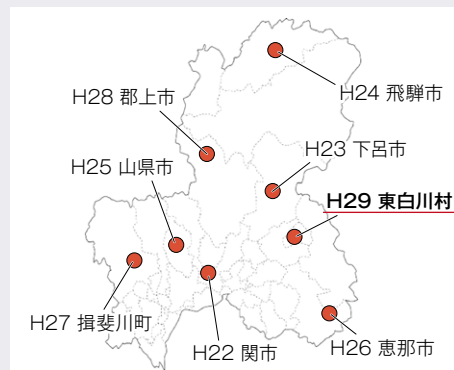
■ 岐阜県における指定状況

県では、平成22年に全国豊かな海づくり大会の御放流場対岸の森林4.53ヘクタールを、県内初の魚つき保安林に指定したのを皮切りに、今年度の指定を含め現在までに8箇所において魚つき保安林を指定しています。

■ 今年度の指定箇所

今年度は、8月11日（金・祝）の「山の日」に合わせて、以下のとおり魚つき保安林を指定しました。

- 場所：東白川村神土地内（つちのこ館対岸）
- 流域名：飛騨川流域
- 指定面積：3.61ヘクタール
- 主な生息魚：アユ、イwana、オイカワ
- 主な植生：ヒノキ、アカマツ、コナラ



▲魚つき保安林指定位置図



魚つき保安林指定地
（白川左岸）▶

【治山課 前田 拓】

白山白川郷ホワイトロードの紅葉

白山白川郷ホワイトロードは、9月下旬より紅葉が始まり、標高差が大きいので、11月上旬までの長い期間、紅葉を楽しむことができます。

美しい紅葉は、県境の三方岩岳から始まり、麓へとおりていきます。展望台や車窓から眺める赤や黄色の紅葉は、針葉樹の緑に映えてとても鮮やかです。

石川県側では、色づいた紅葉が、勢いよく流れ落ちる雄大な滝をより一層美しく見せてくれます。

また、白川郷では、10月中旬はどぶろく祭りの季節です。里の木々も赤や黄色に色づき、秋の訪れを感じさせてくれることでしょう。

鮮やかに彩られる白山白川郷ホワイトロードの紅葉をぜひお楽しみください。

なお、紅葉情報はホームページにて随時更新していますので、お出かけの際はご覧ください。

● 通行料金：普通自動車 **1,600円** 軽自動車 **1,400円**

● 営業期間：11月10日まで（予定）

● 利用時間：8時～17時（出口閉門時間 18時）
（ただし、9月23日から10月22日までは、
モーニングタイム実施のため、7時～17時）

● ホームページ：<http://hs-whiteroad.jp/>

お問い合わせ先

（公社）岐阜県森林公社 白山林道岐阜管理事務所
TEL/FAX 05769-6-1664



▲三方岩岳山頂から岐阜県側を見下ろす

【治山課 増田 龍太】

● 黒い木組の家

目を閉じて「家」という言葉を聞いたとき、皆さんの験の裏には、どんな「家」が思い浮かぶでしょうか。

わたしは東京中野にある祖父の家が浮かびます。祖父の家は建築家の小川行夫氏が設計した「黒い木組の家」でした。幼少のころ、天井照明の細工や、リビングのカウンターにさりげなく立っている丸柱を見て「昔の人は上手に木を使って家をつくるんだなあ」と漠然と思いました。



「箱木千年住宅」外観
日本最古の住宅と言われる建物。木の家の原型としてのヒントに満ちている。

● 日本の木の家ってどんな家？

人類は「近くで採れる材料」を駆使して生活してきました。森林資源の豊富な日本では「竪穴式住居」の昔から「木」を使った家づくりがされています。

日本最古の住宅「箱木千年住宅」(兵庫県神戸市)

日本の木の家ってどんな家？

岐阜県立森林文化アカデミー 講師 ● 松井 匠

市には鎌倉時代後期に伐採した木が使われていますが、この家には土間があり、茅葺き屋根で、太い柱と梁が組まれています。



「箱木千年住宅」内観小屋組
室内を見上げたところ。木と木を組んで架構ができています。

架構は、木と木を上手に削って、お互いに組むことでできています。日本は地震大国ですから、地震の際にはギシギシと揺れたり戻ったりしながら地震力を減衰させ、傾いても倒壊はしないという工夫がされているのです。また、柱は石の上に「ちよん」と乗っています。石に乗せると、柱が腐りにくく長持ちするといわれています。「昔の人が上手に木を使って家をつくっている」のがよくわかります。

● 「古民家」と「二級建築士試験の木造住宅」の違い

では700年ほど経って、最近の木造住宅はどうなっているのでしょうか。二級建築士試験

の教材模型を買ってみました。斜めの材料が入り、木と木の接合には金物を使用していて、基礎コンクリートに土台を緊結すると書いてあります。



二級建築士試験教材模型
筋交いと火打、金物などの斜め材が多用されている最近の住宅の骨組み。

こういった家のつくりは、明治24年に発生した「濃尾地震(推定規模M8・0)」を契機に普及しました。当時の学者や外国人建築家は「トラス構造」を用いて「建物を固くする」設計を推奨したのです。

この構法は、金物や筋交いが大工の作業を簡略化したことや、構造計算が比較的容易ということもあり、だんだんと広まって、今ではすっかり主流となりました。柱や梁を見せない「大壁」の建物が一般的となったので金物も隠れ、構造材はベイマツなどの外国産となり、金物で緊結するので複雑な加工が要らず、プレカット工場で刻むことが可能です。

● 空き家に含まれる「古民家」の再生

2013年の調査で日本の空き家率は13.5%と過去最高となり、2040年には43%になると予想されています。これからの日本の建築実務者は、空き家を再生活用するための調査設計技術が欠かせません。そして古民家も、その空き家に含まれているのです。

さあ、いざ耐震改修をしましょう！というとき、ちょっと落ち着いて、じっくりとその建物を見てみましょう。とても綺麗に無駄のない架構になっていませんか？「昔の人が上手に木を使って家をつくっている」建物になっていませんか？そうしたら、そのやり方に則った耐震改修ができます。2000年には「限界耐力計算」という構造計算も法に定められ「めり込みと摩擦」の耐震性能を適切に評価できるようになりました。また冬は凍える古民家も、断熱改修によって古民家らしさを損なうことなく快適で省エネな家になることができます。

森林文化アカデミーの木造専攻では、こうした既存木造住宅の再生方法を学ぶことができます。また「木造建築病理学」による定量的な調査手法も身につけることができます。岐阜県に残る古民家の再生を実際に行いながら、適切な再生方法を選ぶことのできる設計実務者になって欲しいと願っています。



金物で建物を固める木造住宅
金物を用いた接合部。火打という斜め材で水平力を確保することもある。

これは「めり込みと摩擦で力を逃す」というこれまでの耐震技術とは異なる考え方でした。

『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

5

平成24年度より県民みんなで豊かな自然環境を守る仕組みとして導入した「清流の国ぎふ森林・環境税」は、平成33年度末まで5年間延長されました。税活用事業の内容も見直しをしましたので、新しい内容の事業を含め連載で紹介します。

野生鳥獣保護管理推進事業

第2期は、ニホンジカに加え、イノシシやカワウ等を対象として農林業、生態系及び日常生活への被害低減に取り組みます。

1. ニホンジカ・イノシシの捕獲を推進

ニホンジカやイノシシによる農林業、生態系及び日常生活への被害が問題となっています。これらを軽減するため、5年間でニホンジカ37,500頭、イノシシ1,000頭の捕獲ができる体制づくりを目指しています。

〈取組内容〉

- 市町村が行うニホンジカの個体数調整捕獲に係る経費への助成
- 地域ぐるみで捕獲する体制づくりへの支援
- 鳥獣捕獲等事業者認定を受ける事業者への助成
- わな捕獲の技術向上を目的とした研修会を開催
- 県が自ら捕獲を実施（指定管理鳥獣捕獲等事業）



地域ぐるみで捕獲する体制づくりへの取り組み状況
(H28・郡上市鳥獣被害防止対策協議会提供)

2. カワウ等の被害対策を支援

カワウは全国的に生息数が増加し、本県においてもその食害により内水面漁業が深刻な影響を受けています。漁業被害の軽減並びに野生鳥獣と人との共存を図るため、漁業協同組合等が行う捕獲、追い払いなどカワウ等被害対策に係る経費を補助し、5年間で2,990羽（カワアイサを含む）の捕獲を目指しています。

平成29年度は、19漁業協同組合で被害対策が行われています（平成29年7月現在）。



川に群がるカワウ
(H29・長良川漁業協同組合提供)

3. 有害鳥獣捕獲等に従事する市町村職員の育成を支援

市町村職員が有害鳥獣捕獲等に従事するための狩猟免許（第一種銃猟）、銃所持許可、猟銃等の取得のために必要な経費を補助しています。

これまでに育成された市町村職員は、有害捕獲隊員の一人として活動に従事し、地域の捕獲体制整備の一翼を担っています。

表 過去の取組実績と今年度の予定

	H24	H25	H26	H27	H28	H29 (予定)
育成 人数	1 (1市)	6 (6市村)	4 (2市)	7 (6市町)	1 (1市)	6



本事業で育成された職員による捕獲作業
(H28・下呂市提供)



山のおじまむし



— 暴走老人、ブナカイガラタマバエ — 【第314回】

自然学総合研究所 野平 照雄 ● Teruo Nohira

私の友達はほとんどが年金生活。時間はあるが○○がない。こんな類の高齢者ばかりだ。ある日、この連中十数人でミニ宴会。勿論、年金暮らしの飲み助ばかりなので安い居酒屋だ。昔話に話しが弾んだ。そのうちに晩酌は発泡酒が安い焼酎、回転寿司、100円ショップ通いなどみみっちい話しとなった。「私は、高山へ行くときは高速道路を使わない」とA氏。高速料金は高山まで3000円かかるのに、短縮できるのは40分。いかにももったいないからだという。すると「私は、JRの普通列車を利用している。2000円でおつりがくるからだ」とB氏。さらにC氏は「私は高速バスを利用している。2500円と安い上、全席指定だからだ」とのこと。「そうか、あの飲み助は年金生活を自覚し、節約しながら行動しているのか」。私も心がけねばと思った。考えれば、私も高山市へは年に4、5回くらい出かけている。しかし、ほとんどが高速道路だった。往復6000円。今思えば、もったいない。これからは一般道を走ろうと決めた。

× × × ×

数ヶ月後、その高山へ行くことになった。かつての仕事仲間の飲み会の案内がきたのだ。日時は今年（2017年）の4月某日。「よい時期だ。その頃はブナカイガラタマバエの発生期ではないか。行く途中で調べることが出来る」と嬉しくなった。と言うのは次のような経緯からである。ブナカイガラタマバエは25年前に岐阜県北部のブナ林で突然大発生した。しかし、大発生はその年だけ。その後全く姿を見せないのである。どこで眠っているのか。常に気になっていた。そのせいか今年の初夢に再び大発生したブナカイガラタマバエが出てきたのである。目覚めたときはがっかりしたが、夢は正夢と言うこともある。ひょっとしたら大発生の前兆ではないか。そんな気がしたので、この虫を探してみようと思っていたからである。予定を組んだ。勿論一般道で行くコースだ。早朝に出て、郡上八幡町まで行き、ここから「せせらぎ街道」を走る。その途中、西ウレ峠のブナ林でブナカイガラタマバエを調べ、その後高山へ向かう。夜はおいしいお酒を飲みながらの歓談。充実した一日になると思った。そして当日。晴れやかな気分で行った。西ウレ峠に着いた。ブナの新緑が鮮やかであった。そのブナの葉を調べた。しかし、いない。いくら探しても見つからなかった。正夢ではなかった。そんな予感したのはものの、少々落胆した。

× × × ×

結局、悔しい思いで、高山へと向かった。しかし、運転席から眺める景色は新緑が鮮やかで、快適なドライブとなった。しばらくしたら赤い旗が目に入った。「しまった」と思ったものの、後の祭り。スピード違反の取り締まりに捕まったのである。「35キロオーバーですよ。30日間の免許停止です」と取締官は免許

証を求めた。「あなたは後期高齢者に近い老人なのにこの速度。暴走老人ですよ」と笑いながら言われた。暴走老人。自分でも笑えてきた。そして「ただ、あなたは免許証がゴールドなので、講習を受ければ免許は1日で済みますよ」と言われた。「よかった」と思った。しかし、気になるのは罰金。いくらなのか聞いてみた。「それは裁判所が決めます。ただし、その前に講習を受けて試験に受かることが前提です」と言われた。暗い気持ちで飲み会会場へ行った。宴会がはじまった。昔話に花が咲く。そのうちに、今日のスピード違反の話をした。すると〇氏は「その歳で35キロのスピード違反。暴走老人だ。罰金10万だな」と茶化した言葉。皆は大笑い。同情するものはいなかった。自分が酒の肴となり、宴会は大いに盛り上がった。

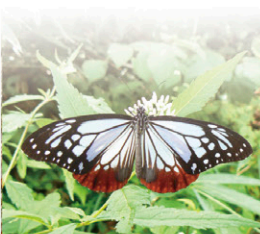
× × × ×

自動車教習所で講習を受けた。受講者は8名。ほとんどが20～30代で、高齢者は私だけ。場違いのところへ来たような気がした。まず、試験官の挨拶。ここでは皆さんが、再び運転できるように教えている。落としてやろうなどの邪心は全く無いと話された。そして「高齢者の方は理解力が劣るので、同じ説明を何回もします。そのような講習となることを承知しておいて下さい」との補足説明。しかし、高齢者は私だけ。複雑な気持ちになった。講習がはじまった。説明が終わる毎に、先生は私を見て「わかりましたか、次へ進んでもよろしいですか」と念を押される。その都度、むっとしたけど「わかりました」。印象を悪くして



▲5mmに満たない小さなブナカイガラタマバエ成虫

は駄目だと思ったからである。試験は無事合格。1ヶ月後、裁判所から出頭命令が来た。罰金6万円だった。これは痛かったが、罪を犯した意識はなく「運が悪かっただけ」。これが本心だった。しかし、二度と暴走老人にはならないと自分に言い聞かせた。考えれば今回のこの騒動？は20数年間眠り続けているブナカイガラタマバエが目覚めているかどうかの確認だった。しかし、相変わらず眠り続けていた。逆に目覚めたのは10年間熟睡していた私の交通違反。これはブナカイガラタマバエと同じように眠り続けて欲しいと思った。それと今回の高山行きは高速料金6千円を節約するのが目的だったが、結果は6万円もの出費。思わず笑えてきた。



大野町の木育づくり

大野町の木育づくり施策を紹介します。



森林の概要

大野町は、岐阜県の南西部、濃尾平野のほぼ西北端に位置し、北は越美山地を背に、東に一級河川の根尾川と西に揖斐川が流れ、緑豊かで自然に恵まれた平坦地域です。

町の総面積は3,420ha、その中で森林面積は551haで全体の約16%となっています。その内、人工林面積は、85haであり人工林率は、約15%となっています。

森林整備

本町では、北部の森林や自然を守っていくため、里山林の保全・森林の癒しの空間・健康増進・体験学習など森林と人との共生を目指して、平成17年度から平成23年度までの補助事業で、約211haの整備を行いました。

主な整備として、12コースの散策道と広場の整備を行いました。散策道のコースは、最短で0.2km、最長で1.5kmの全長約10kmです。所要時間は、約10分から40分となっています。その散策道は、森林浴を楽しむ癒しの空間、健康増進のための空間、初心者から高齢者にも散策しやすく自然の中でのウォーキングを楽しめ、山頂からの眺望もよく、天候が良ければ遠くの名古屋市の

ツインタワーが見えるなど楽しめるコースとなっています。



▲散策道コース案内図

木育フェア

本町では、平成27年度に開催された「第39回全国育樹祭」を契機に森林や木の恵みに感謝すると共に、子どもをはじめ全ての町民が「木とふれあい・木に学び・木と生きる」をテーマに「おおの木育フェア2015」を開催し、更に同年、木育ひろばの拡大や職員の研修などの「木育推進宣言」を行いました。昨年度のフェアでは、誕生祝い品事業などの「ウッドスタート宣言」を行い、幼児期から人と木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育むと共に、ふるさとを愛し、大切に「心」を育むことを目的

としています。この木育フェアを継続開催していくことで、「木育推進のまち」としての機運を高め、幼児期の五感体験がその子の人格形成に大きく影響しているといわれていることから、将来においても木や森のつながりを持ち続ける事を期待して、平成29年11月3日に「おおの木育フェア2017」を開催しますので、是非お越し下さい。



▲おおの木育フェア2016の様子①



▲おおの木育フェア2016の様子②

最近の木育の取り組み

(1)誕生祝い品「パーシモンブロック」贈呈

県内では、美濃市に次いで2番目となるウッドスタート宣言をし、町特産品である柿をイメージした積み木を一歳の誕生祝い品として贈呈しています。

(2)県産材おもちゃの導入

ぎふの木育教材導入支援事業により「森の恵み」「まあるいつみき」等を購入し、子ども達は集中しておだやかに工夫して遊んでいます。

(3)「ぎふ木育ひろば」の設置

町内の3施設の子育て支援センターに、身近に木のぬくもりを体験することが出来る「ぎふ木育ひろば」を設置しました。

今後の木育の取り組み

本町の南部では、平成31年度に予定されている東海環状自動車道(仮称)大野・神戸ICの開通を見据え、道の駅「パレットピアおおの」の整備を進めています。「パレットピアおおの」は、平成27年1月に「重点道の駅」(全国で35箇所)に岐阜県内で唯一選ばれ、町の玄関口のみならず揖斐地域の玄関口として、地域活性化の拠点となることを期待されています。

「パレットピアおおの」には、「子育て支援施設」を併設して、親子が気軽に集い、交流し、共に学び、成長を実感できる場である「地域の子育て支援拠点」としての役割も担う予定です。施設は、県産材を活用し(木造平屋建)、施設内は、県産材の木のおもちゃも揃える予定です。また、施設の外には、広場も設け、子ども達が気軽に木と触れ合い、木に親しみながら育つことで、「木育」を自然に体験・体験できる場所となる予定です。



▲道の駅「パレットピアおおの」平成30年夏開駅予定

●詳しい内容を知りたい方は

TEL0585-341111(代)

大野町役場農林課まで



写真左 大野さん
写真右 柴田さん



これからの林業を担う若者達

株式会社力ネキ木材 (関市)

大野 将伸さん

有限会社フォレスト板取 (関市)

柴田 開斗さん

この春、岐阜県立森林文化アカデミーを卒業した若者が、中濃地域の林業事業体2社へ就職しました。一人は家業を継ぎ父のような森林技術者として、もう一人は森林づくりを提案・実行するプランナーとして、それぞれの将来に向かってスタートを切った2人の近況を報告します。



株式会社力ネキ木材 (関市)
大野 将伸さん

Q. 林業に従事したきっかけは？

A. 学生時代を関東で過ごし、卒業後は岐阜県内のコーヒー専門店で働きました。ぼんやりと将来について考えていた時、社長である父から一緒に林業をやらないかと声をかけられました。会社に沢山ある林業機械にも関心がありましたので、まずは県立森林文化アカデミーへ入学し、林業の基礎を学び、卒業と同時にこの世界へ入りました。

Q. 日々の業務内容は？

A. グラップル、スイングヤーダ、タワーヤーダ等の林業機械を操作しています。枝払いや玉切り、伐採等についても、少しずつ経験を積んで勉強しています。

Q. 働いてみての感想は？

A. 正直、林業を甘く見ていました。こうやりたいと頭では考えても、実際にやろうとすると上手くできずに悔しい思いをしています。また、様々な林業機械を操作することができ、一連の技術を学べる環境に感謝しています。

Q. 難しいと感じることは？

A. 林業の作業は、一つとして同じものがないところです。それぞれ状況が異なるため、その時の状況に合わせて、早く丁寧に仕事をすることが難しいです。



グラップルによる木寄せ

Q. 今後の目標は？

A. (手助けなく自分)一人で木を伐採できるようにになりたいです。3年以内を目標とし、一連の仕事を任せられるよう日々努力しています。



有限会社フォレスト板取 (関市)
柴田 開斗さん

Q. 林業に従事したきっかけは？

A. 子どもの頃、昆虫採取や木を使ったクラフト工作等が大好きでした。木に興味がありましたので、県立森林文化アカデミーへ入学し、森林や木工について学びました。木に係わりのある仕事に従事したいと思い、入社しました。

Q. 日々の業務内容は？

A. 現場管理の仕事が中心です。森林整備の現場へ行き、プロット調査、写真撮影、測量、書類作成等を行っています。

Q. 働いてみての感想は？

A. 書類の作り方一つにしても、覚えることが多く、毎日が新しいことの発見です。丁寧に教えてもらえる環境にあるので、現場を含め多くのことを吸収したいです。

Q. 難しいと感じることは？

A. 現場管理と書類作成を同時並行で進めていかなければならないので、効率よく仕事をこなすことが難しいです。

Q. 今後の目標は？

A. 沢山の経験を積み、近い将来、施業プランナーの資格を取得し、地元の意向を踏まえた地域の森林づくりを提案・実践していきたいです。



現地測量

今後、中濃管内のみならず、岐阜県の林業を担っていく2人の活躍を期待しています。

【中濃農林事務所 間野 知宏】

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-13314011 内線(236)

中濃農林事務所まで

ほほえみ栄町

岐阜県関市栄町2丁目8番1



施設全景

● 施設概要

事業年度	平成28年度
事業主体	社会福祉法人桜友会
構造・延床面積	木造2階建て 延床面積752.69㎡
施設用途	認知症対応型共同生活介護、認知症対応型通所介護、 居宅介護支援事業所
木材使用量 使用樹種	県産材使用量：137.74㎡ (74.8%) 主な使用樹種：ヒノキ、スギ
全体事業費	170,316千円
助成額	12,784千円 (木の香る快適な教育施設等整備事業)
設計者	碩建築設計事務所
施工業者	(株)野田建設
工期	平成28年10月～平成29年3月

1階
認知症対応型
通所介護ホール

1階 相談コーナー



● 施設の経緯

ほほえみ栄町は、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）・認知症対応型通所介護（認知症対応型デイサービス）・居宅介護支援事業所を併設した施設です。介護が必要となった高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、高齢者の生活支援を目的に、平成29年4月に開設しました。

地域の皆さまに気軽に立ち寄っていただける施設としたいという考えのもと、地域交流ホールを設けています。



1階 地域交流ホール



2階 認知症対応型共同生活介護

● ここに注目!!

- 構造部材は全て岐阜県産材を使用しています。地域交流ホールは、柱を極力少なくし大空間を実現しました。

● 利用者の様子

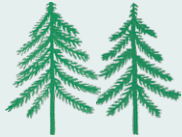
- 「木の温もりが感じられ、落ち着けるからいいね」と、会話も笑顔も弾む毎日です。

■ 問い合わせ先

社会福祉法人桜友会 グループホームほほえみ栄町
TEL 0575-24-2080



次世代型林業架線研修を開催しました



■森林文化アカデミー 森林技術開発・支援センター 長屋 公三

5月15日から26日まで、西南濃森林組合の現場技術者7名を対象に、岐阜県が所有するタワーヤード「L A R I X L A M A K O」を使った「次世代型林業架線研修」を開催しました。

研修受講にあたって

西南濃森林組合管内の森林は山割りが細かく、また、人工林の林齢が県平均よりも若いという条件のため、作業班が年間を通じて林産事業一本で稼働する体制とはなっていません。

その分、作業班のメンバーは何でもできるオールラウンダーが揃っており、林産、保育、植栽、特殊伐採とあらゆる業務に従事することができます。

組合では0・25㎡クラスのスイングヤードを所有しており、林産事業においては車両系や短距離簡易架線による集材システムを行っています。地域の森林資源が成熟してくれば、現在は伐り捨て間伐としている道から遠い資源も林産事業の対象となり得るとして、いずれ中距離架線の技術が必要になると考えています。

しかし、「従来型架線は非常に高度な技術が求められる、人材育成に何年も要するから手が出せない」「従来型架線は架設・撤去費が高むので技術が未熟では事業が成り立たない」という事態が想定されます。

そこで、集材機と比較すると架設完了後の集材作業時の操作が容易で、必要人員が少なくて済むタワーヤードの使い方を学んでおこうと考えました。

将来を見据えたプランナーの技術者育成

戦略と、常に新しい技術と知識を吸収したいという現場技術者の積極的姿勢が相まって、今回の研修受講につながりました。

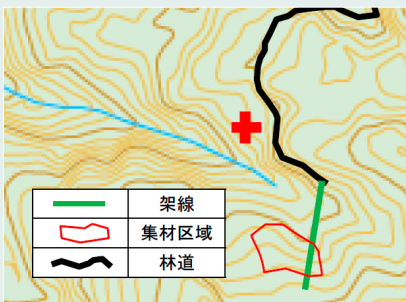
現場の状況

今回の研修現場は、林道終点にタワーヤードを据え付け、谷越えで支間距離100m程度の下げ荷線を架設しました。

集材対象範囲は谷の向こう側のみで、線下の集材範囲の長さよりも横取り範囲の方が長い少々厄介な小規模皆伐の現場でした。

しかし、横取り範囲はほぼ等高線方向にフラットに広がっていたので、搬器を先柱近くに停止させれば、荷掛け位置まではリフティングラインを斜め下に引き降ろすようにフックを持って移動することができました。当初の予想よりは楽に横取り作業ができました。

集材対象木には、胸高直径が50cmを超えるスギやヒノキも含まれており、全幹集材ができない場合には先山で2玉にして集材することにしました。



▲図1 現場位置図

研修の流れと内容

タワーヤードならではの架設工程を覚えてもらうために、全ての作業を一つ一つ全員で行いました。

また、本架線の専門業者で数年間修行を積んだ人がメンバーに含まれているので、先柱の作設等の本架線と共通する事項はその人に先頭に立ってもらって進めました。

- ①タワーヤードを据え付け、タワーを立ててガイドラインを設置
- ②先柱の作設とHBL引き回し用ガイドブロックの設置
- ③リードロープの引き回しとHBLとの入れ替え
- ④HBLによるSKLとHALの引き回し
- ⑤SKLのアンカー固定
- ⑥搬器へのHAL、HBLの巻き込み
- ⑦SKLに搬器を載せる
- ⑧SKLの張り上げとHAL、HBLの緊張



▲写真1 タワーの真後ろから先柱を確認

架設が完了すると、試運転と荷を掛けていない空搬器での操作実習を行い、リモコンの基本操作を学びました。

基本操作の習得後は、自動停止位置の設定方法、リフチングラインの出し方と荷掛け後の巻き上げ方、荷を掛けた空搬器の走行、荷の降ろし方の実習を行い、集材作業に必要な操作を学びました。

そして、いよいよOJTらしく、集材作業実習を開始しました。

土場側ではタワーヤーダオペレーター、グラップルオペレーター、造材手に、先山では伐倒手、枝払い手、タワーヤーダオペレーター、荷掛け手に分かれ、各役を交代しながら実習を行いました。



▲写真2 集材作業状況

小面積皆伐のため、研修期間の半ばには集材を終えてしまったので、一旦、架線を撤収した後、再度、同じ場所で架設手順の復習を行いました。

更に、上げ荷線を張れる場所に移動して、上げ荷線の架設実習も行いました。

受講者の反応

7人の受講者は、当初は見慣れない機械を前にして遠巻きに見る感じでしたが、直ぐに興味津々となり、タワーヤーダ本体のみならず、付属機材についても「これはどういう仕組み?」「これの使い方は?」等と質問攻めにされました。

リモコンの操作方法の習得段階では、必ず次の人が横で見聞きして早く覚えようと、自分の順番を終えたと他の人に教え合っていました。



▲写真3 操作を教え合う受講者

タワーヤーダの能力に関する反応としては、昨年の研修受講者と同様に、大きなけん引力と吊り上げ能力を高く評価し、使い慣れた0・25㎡クラスのスイングヤーダとは比べ物にならない力に感心していました。また、タワーヤーダで使用している特殊な圧縮ワイヤの丈夫さと、擦れに強い性質にも関心が集まっていました。

トラブルから学ぶ

① 研修期間も半ばとなった頃、朝、エンジンをかけようとするセルモーターが全く回らず、運転席のモニターでバッテリーの電圧を見ると10Vを切っていました。

前日までは全く問題がなかったバッテリーが突然ダメになり、ブースターケーブルで自動車とつなぐことでエンジンをかけましたが、電圧が回復することなくエンジンを切ると再始動できず困ってしまいました。

運良く、「レンタタルのニッケン」のLAMAKO担当メカニックの「トキさん」が研修の様子を見に来てくださったため、これ幸いと泣きつきました。

バッテリー端子からケーブルを外すと端子が真っ白に腐食していたため、金属ブラシで磨いて再接続すると難なく復活しました。バッテリー端子から直接、電圧を計ると12V以上を維持しており、また、放電チェックでも問題は無く、バッテリーの内部には異常は見られないことが判明し、ひと安心しました。

納車から1年ちよつとしか経過していないことから油断をしており、バッテリーのトラブル対応の基本の一つを見逃して大騒ぎをしてしまいました。

② 突然、トラクター運転席の液晶パネルが表示されなくなり、タコメーターも動かなくなりました。

電気系統ということでヒューズを全て確認しましたが一つも切れていません。ヒューズBOXとは反対側のパネルの蓋を開けると、平型端子の雌側が付いたコードが1本、垂れ下がっていました。

それが挿さっていたらしき個所に挿してエンジンキーを電源ONにすると液晶パネルが復活し、エンジンをかけるとタコメーターが動きました。

タワーユニットは振動が大きく、カバーを留めているボルトが弛んで欠落することはありませんでしたが、パワーユニットであるトラクターの電気系統の端子が外れることがあるとは驚きでした。

③ 林道は幅員が約5mありましたが、盛土側は急斜面上にL型擁壁で垂直に立ち上がっており、タワーヤーダの前の作業スペースが狭い状況でした。

そのため、撤収の際に搬器を下すにはタワーヤーダユニットに接近させるしかなく、主索がタワー先端滑車から真下に垂れ下がることになり、タワーの作業用滑車や距離センサーの配線に接触しそうになり、対応に苦慮しました。

昨年度は研修現場の条件が良かったため気づきませんでしたが、タワーの高さと同程度の距離を離して搬器を下せるように現場を設定すると良いことが判りました。

おわりに

今後は、ワイヤの点検終了後に研修受講者の事業体に対する貸し出しと2回目の研修実施を予定しています。

タワーヤーダが実稼働している状況を見学したい方は、森林文化アカデミーまでお問い合わせください。

● 詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-135125635

森林文化アカデミー 森林技術開発 支援センターまで

崩壊危険地がわかりやすい地図を 道づくりに活用する(その2)

森林研究所 ● 白田 寿生

はじめに

森林内に作設する路網の損壊を防ぐためには、損壊が発生しやすい崩壊危険地を的確に把握し、それらを考慮した路線計画を行うことが重要です。

実際に県内の林業専用道および森林作業道で発生した85箇所の損壊箇所を崩壊危険地別に分類してみると、すべての損壊箇所は何らかの崩壊危険地に該当し、特に、0(ゼロ)次谷(※1)、地すべり地形、断層地形での発生割合が高いことが明らかになっています(図1)。(※1)「0次谷」は明瞭な流路を持たない谷頭の集水地形

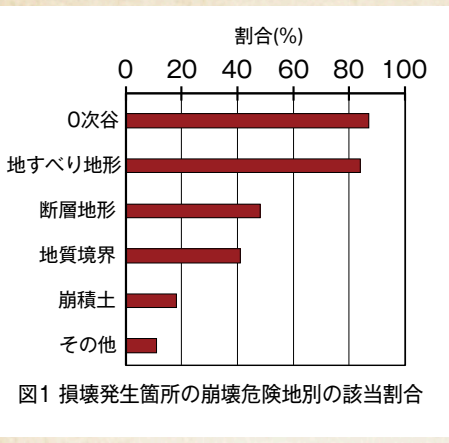


図1 損壊発生箇所の崩壊危険地別の該当割合

本誌759号では、崩壊危険地形がわかりやすい地図として、当所が提供

している「傾斜区分図」と「CS立体図」を紹介しましたが、今回はインターネットなどから手軽に入手できるその他の地図情報について紹介します。

地すべり地形分布図

地すべり地形分布図は、国立研究開発法人防災科学技術研究所が空中写真の実体視による地形判読を通して、地すべり地形の外形やその分布などを示した図面です。この地すべり地形分布図によって、過去に地すべり変動を起こした場所やその規模、変動状況などを把握することができます。

地すべり地形の中心付近は傾斜が緩い場合があります、道を作設しなくなりませんが、地すべり地形周辺は崩れやすくなっているため注意が必要です。

活断層図

活断層図は各種機関から公開されていますが、全国を対象とした詳細なものは、国立研究開発法人産業技術総合研究所(以下、産総研)が公開しています。活断層をはじめとする断層周辺では、地盤の破碎や風化が進んでいるとともに、地下水が集中している場所もあり、崩壊が発生しやすくなっています。

地質図では、地下にどのような種類の石や地層が分布しているかを知ることができません。地質図も各種機関から公開されていますが、産総研が公開している地質図は、全国を対象に詳細に作成されています。

地質図

路線計画の際に参照する地質図はできる限り縮尺が詳細なもの(5万分の1)が望ましいですが、地域によっては20万分の1の縮尺でしか作成されていないところもあるため、可能な範囲で詳細なものを参照しましょう。

地質図からわかる崩壊危険地の情報は、地質境界(※2)だけではなく、活断層以外の断層も記載されているため、必ず確認しておきましょう。(※2)「地質境界」では隣接する地質の強度や透水性などが異なるため崩壊が発生しやすい

おわりに

今回紹介した地図情報は、いずれも産総研がインターネットで公開してい

る「地質図Navi」により複数の情報を重ねて確認することができ(図2)。地質図Naviはスマホにも対応しているため、通信可能なエリア内であれば現在位置での情報を確認することができ、とても便利です。県内には地すべり地形や断層は少ないと思っていられる方には、ぜひ一度確認していただきたいです。

各種地図による情報と現地での情報を照らし合わせながら、的確な地形判読を行い、壊れにくい道づくりを進めていきましょう。

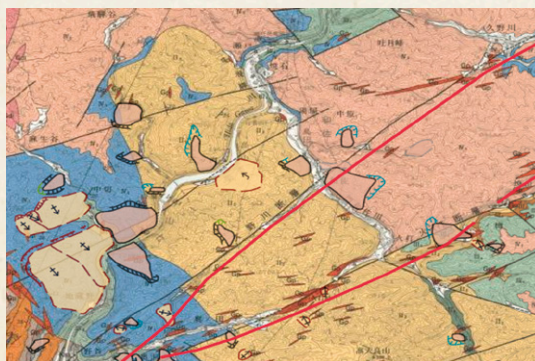


図2 地質図Naviで複数の地図情報を重ねて表示した例

● 詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-333-2585

森林研究所まで

既設谷止工における一考察

中濃農林事務所林業課 大坪 武司・高木 規充

はじめに

平成27年3月に発表された「岐阜県強靱化計画アクションプラン2015」を基に既設谷止工の機能強化を図るため中濃農林事務所管内において谷止工の嵩上げを行いました。施工の中で浮かび上がった課題、注意点を紹介します。

事業概要

既設谷止工の上流には、堆積土砂や雪害による倒木が見られ、大雨等があった際に、流れ木、土砂流出が発生して下流の集落に被害を与える危険性がありました。



当初、既設谷止工の上流に新たに谷止工を設置する対策をする予定でしたが、既設谷止工が障害となり、設置した後の管理、施設の整備が困難となるため既設谷止工を生かす計画としました。

既設堰堤の位置は両岸に岩盤が露出し河川幅も狭く谷止工の設置位置としては適切であり、既設谷止工を嵩上げし、背面の土砂を排土することにより上流に堆積する土砂を捕捉する4型の構造としました。



嵩上げの施工状況

既設谷止工の袖天端を取り壊したところ玉石コンクリートであることが分かりました。

また、コンクリートの打継目部分の玉石とコンクリートが一体化していない箇所があることや、現地発生材が含まれ、コンクリートの厚みが適切でない箇所があることが分かりました。玉石コンクリート工は、中詰材の上にコンクリートを被覆した構造物で、本来ならコンクリートにある程度厚みを持たせる必要があります。

しかし、今回施工した既設谷止工はコンクリートの厚みが極端に薄い箇所が複数見られたため、壁面に等間隔に削孔を行うと構造物の耐久性を著しく損なう可能性があります。

検討の結果、新旧コンクリートの接合面については、当初計画していた鉄筋挿入工から、ポンドを使用する工法へ変更しました。



まとめ

既設構造物の嵩上げを行う場合には外観の目視やシユミットハンマー試験といった簡易な試験だけで判断せず、ボーリング試験等の構造物内部の状態を確認ができる詳細な試験を行う必要があることが分かりました。

現在県では、治山施設の点検を順次行っています。その中で、老朽化した施設を生かし、災害抑止の効果が弱まりつつある構造物の補修又は補強に県全体として取り組んでいます。

強靱化対策事業は前例の少ない工事であるため、これからの強靱化事業の参考になれば幸いです。



● 詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-3314011(代)

中濃農林事務所林業課まで

コンテナ苗研修会を 開催しました

岐阜森林管理署 大島 愛彦

中部森林管理局では、平成25年から岐阜県森林研究所とコンテナ苗の共同研究を行っています。下呂市金山町の高天良（たかてら）国有林には植栽して4年目を迎える事業地があり、コンテナ苗の取組は日が浅く植栽後の生育状況に関する情報は少ないので、貴重な先進事例と言えます。せっかく良い事業地を持っているのだから、この事業地を使ってコンテナ苗の研究成果をもっとたくさんの人に普及しようと、研修会の企画に乗り出しました。

コンテナ苗の研修 (普及活動)の経緯

国有林では民国連携の取組を進めており、高天良国有林でも植栽当時から研修会等が行われてきました。昨年度は岐阜県の林業普及指導員等を対象に、また山県市、本巣市、岐阜市の市町村森林管理委員会が視察に来られ、民国共催で研修会を開催しました。

今年度は局森林技術・支援センターが苗木生産者を対象に研修会を予定しており、ここに市町村、林業事業体等への普及を提案しました。

岐阜県森林整備課、森林研究所、岐阜森林管理署、局森林技術・支援センターの主催4者で打合せを行い、岐阜県森林研究所から全

国のコンテナ苗研究者（一貫作業促進共同研究機構）の検討会を同時開催して苗木生産者や実際に植栽作業に従事する森林組合等との意見交換ができないかと提案があり、2日目の屋内研修会では全国のコンテナ苗（スギ、カラマツ、ヒノキ）の動向をお話しいただけることになりました。

◆研修会の内容

開催日	7月20日（木）		7月21日（金）	
対象者	岐阜県内の苗木生産者等 42名		岐阜県内の市町村、 林業事業体等 56名	
時間	10:00~12:00	13:45~16:00	10:00~12:00	13:30~15:00
場所	高天良国有林 (下呂市金山町福来)	岐阜樹木 育苗センター (下呂市乗政)	下呂市金山 市民会館 (下呂市金山町金山)	高天良国有林 (下呂市金山町福来)
内容	コンテナ苗の生育状況等の見学、従来の裸苗との比較	最新の林業用コンテナ苗を生産する施設の見学、全国のコンテナ苗研究者と受講者の意見交換	全国のコンテナ苗の研究成果に関する発表、意見交換	コンテナ苗の植栽体験、専用器具の紹介、従来の裸苗との比較、生育状況等の見学

屋内研修会（コンテナ苗の動向等）

森林総合研究所、長野県林業総合センター、岐阜県森林研究所の研究者からコンテナ苗の動向、研究成果をお話しいただきました。研究者と受講者との意見交換では、コンテナ苗の取扱い（地拵え時の注意点、従来の造林（裸苗）との違い、仮植は可能か）などの意見が出され、活発な意見交換が行われました。



▲屋内研修会

現地研修会（高天良国有林）

現地研修会では、岐阜県森林研究所からコンテナ苗の生育状況をはじめ、従来の裸苗との比較等についてパネルを使ってわかりやすく説明しました。

その後、局森林技術・支援センターからコンテナ苗を植栽する専用の器具（スベード、ダブル、専用鋏）を紹介し、受講者によるコンテナ苗の植栽体験を行いました。



▲現地研修会

7月の炎天下での研修会になりましたが、勉強になったと好評価の意見が多く聞かれ、民国連携またコンテナ苗を普及する意味で有意義な研修会になりました。

森林管理署は林野庁の現地機関

今回の研修会では国有林の無い市町村の方にも参加いただきました。

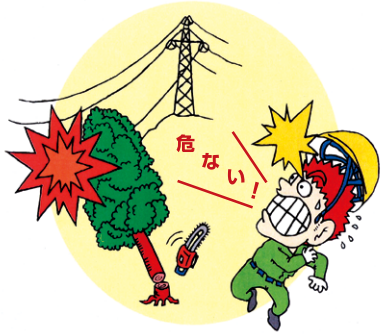
岐阜森林管理署の管轄は飛騨川流域、長良川流域、揖斐川流域と広く、森林管理署は林野庁の現地機関ですので、国有林が無くても市町村森林管理委員会などにお招きいただければ喜んで参加させていただきます。

秋には二ホンジカ食害防除対策検討会を七宗国有林で開催予定です。また案内させていただきますので、積極的な参加をお待ちしています。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 050-3160-6090(代)

岐阜森林管理署まで



伐採作業をされるみなさまへ ～電気事故防止のお願い!!～

- ◆送電線は、直接電線に触れなくても感電します。送電線の近くで伐採または集運材索道架設作業等をされる場合は、事前に最寄りの事業所までご連絡ください。
- ◆万が一、送電線の上に倒してしまった場合は、電線に接触している木や、切れた電線には絶対に触らないで、その場から離れて、最寄りの事業所までご連絡ください。
- ◆事故が発生しますと、尊い人命が奪われます。また、停電により多くのお客さまにご迷惑をかけることとなり、起因者に対する補償問題にも発展します。

中部電力の連絡先と主な管轄

●岐阜電力センター送電課	TEL(058)272-3222 岐阜市、山県市、各務原市、関市
●岐阜電力センター大垣電力所送電課	TEL(0584)81-1043 大垣市、揖斐郡、不破郡、養老郡、本巣市
●加茂電力センター送電課	TEL(0574)28-1504 美濃加茂市、郡上市、加茂郡、高山市荏荏川、下呂市金山
●加茂電力センター多治見電力所送電課	TEL(0572)24-5013 中津川市、恵那市、瑞浪市、土岐市
●飛騨電力センター送電課	TEL(0576)62-3953 飛騨市、高山市、下呂市、白川村

※窓口は月～金曜日（祝日および年末年始除く）の8:30～17:10とさせていただきますので、連絡はお早めをお願いいたします。

岐阜県内の送電線を 保守する電力会社

- 中部電力株式会社
- 関西電力株式会社
- 北陸電力株式会社
- 電源開発株式会社

※付近に送電線があることを右記に連絡していただければ、管轄する電力会社にて対応させていただきます。

森林・林業関係イベントカレンダー（10月）

林業者向け

開催日	行事名等	内容等	開催場所 問い合わせ先
10月3日(火)～ 10月4日(水)	機械集材装置 運転業務特別教育	<ul style="list-style-type: none"> ●講習時間：3日 9:50～16:00 学科 4日 8:30～17:30 実技 ●申込：開催日の10日前まで ●受講料：17,200円（本代含む）（振込み） ●定員：30名（定員になり次第締め切ります。） 	3日(学科) ぎふ森林文化センター (岐阜市六条江東2-5-6) 4日(実技) 美濃市曾代地内 林材業労災防止協会岐阜県支部 TEL 058-275-0192 FAX 058-201-1195
10月11日(水)	刈払機取扱作業 安全衛生教育	<ul style="list-style-type: none"> ●講習時間：9:30～15:30 学科 15:30～16:30 実技 ●申込：開催日の10日前まで ●受講料：11,340円（本代含む）（振込み） ●定員：30名（定員になり次第締め切ります。） 	ぎふ森林文化センター（岐阜市六条江東2-5-6） 林材業労災防止協会岐阜県支部 TEL 058-275-0192 FAX 058-201-1195
10月17日(火)～ 10月18日(水)	架線集材等機械の 運転業務特別教育	<ul style="list-style-type: none"> ●講習時間：17日 9:00～16:00 学科 18日 8:30～17:30 実技 ●申込：開催日の10日前まで ●受講料：47,520円（本代含む）（振込み） ●定員：30名（定員になり次第締め切ります。学科及び実技一部免除者を含む。実技は10名単位の開催となりますので実技受講者が20名以上の場合は翌日になりますのでお問い合わせください。） 	17日(学科) ぎふ森林文化センター (岐阜市六条江東2-5-6) 18日(実技) 関市内 林材業労災防止協会岐阜県支部 TEL 058-275-0192 FAX 058-201-1195
10月29日(日)	狩猟免許試験講習会	狩猟免許試験を受験される方を対象とした無料の講習会を開催します。 <ul style="list-style-type: none"> ●時間10:00～15:30 ●申込10/6～10/20 ※事前に申し込みが必要です。詳しくは右記にお問い合わせください。	郡上市総合文化センター（郡上市八幡町島谷207-1） 岐阜県猟友会 TEL 058-272-8398



飛騨市より人事交流で参り、4月より「森林のたより」の編集委員を担当させていただきます。

「森林のたより」の存在は飛騨市にいた時から知っており、昨年度までは一読者でありました。

現在は編集委員という立場から昨年度とは別角度から「森林のたより」に関わらせていただいております。

編集委員の業務に限らず、人事交流の期間においては県職員の立場から市職員とは別角度から行政をみるようになりますが、様々な経験を通し、行政職員として成長したいと考えております。

「森林のたより」編集委員 富本 守

イベント情報

連載

- 山の歳時記 (146)
- 山のおじゃまむし (315)

森の名手・名人

清流と森と親しむ

- 森林と人を活かす知恵 (58)

清流の国ぎふ森林・環境税

わがまちの森林・環境行政 (10)

森林・林業技術

- 研究・普及コーナー

市況情報

その他

10月1日発行

10月号
予定

木材市況 県森連 岐阜・飛騨・東濃林産物共販所

単位:円(1㎡当たり)

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	備考
第1635回 岐阜共販所	すぎ	3 m	16~18cm	12,200	—	単価は直材 価格、但し 平均値は並 材二番玉価 格
			16~18cm	11,000	—	
		4 m	20~22cm	11,500	—	
			24~28cm	12,500	15,100	
			30cm以上	12,000	20,000	
	ひのき	3 m	16~18cm	16,500	—	
			20cm以上	15,000	—	
		4 m	16~22cm	16,600	—	
			24~28cm	14,500	—	
			30cm以上	18,000	70,000	
第1213回 飛騨共販所	すぎ	3 m	16~18cm	11,500	—	
			22~28cm	11,000	—	
		30cm以上	11,000	—		
	ひのき	3 m	16~18cm	16,500	—	
			20~22cm	16,000	—	
		30cm以上	17,000	50,000		
	まつ	4 m	24~28cm	—	—	
			30cm以上	—	—	
		ひめこ	4 m	24~28cm	—	—
				30cm以上	—	—
くり	4 m	24cm以上	20,000	—		
		24cm以上	20,000	—		
第1546回 東濃共販所	すぎ	3 m	16~20cm	12,200	13,100	
			22~28cm	12,400	13,900	
		30cm以上元	13,500	18,000		
	ひのき	3 m	16~20cm	17,000	22,000	
			22~28cm	15,000	19,700	
			30cm以上元	20,000	33,000	
		4 m	13cm以下	9,000	—	
			22~28cm	14,900	20,200	
			30cm以上元	20,500	—	
	6 m	18~20cm	27,000	29,900		
18~20cm		27,000	29,900			
8月3日	まつ	4 m	22~28cm梁	7,500	—	
			30cm以上元	10,000	—	

木材市場

全般的に横ばいで推移

【商況】

スギ並材3m(16~22cm)は不足しており強含み。スギ4m元木、二番ともに中目、中目上、強含み。ヒノキの並材4m土台取りは強含み、造材は4m(16~22cm)が有利。ヒノキ二番中目材は荷動きも少なく、弱含み。スギ・ヒノキ良材は、樹皮の剥離しているものは売りづらい。製紙パルプ向け広葉樹原木、受け入れ制限となっております。予定される方は共販所担当者まで一報ください。(岐阜)

ヒノキ良材は応札が多く人気。スギ4m節欠陥材は売りづらい。スギ・ヒノキ並材は3m・4mとも(16~22cm)強含み、ヒノキ二番(24~30cm)中目は、荷動きが悪く弱含み。製紙向け広葉樹パルプ受け入れ制限となっております。虫害の時期になり、薬剤散布をしておりますが、伐採後速やかに搬出をお願いします。(飛騨)

ヒノキ元木良材(高齢材及び枝打材など(特殊材))2m・3m・4m・6mは応札も多く横ばい。ヒノキ並材は3m・4mとも(16~28cm)横ばい、6m(16~20cm)は価格安定。スギは全般的に品薄、4m元木良材は応札多くやや高値、二番玉並材3m・4mとも(16~28cm)横ばい。枝虫材等、欠点材は売りにくい。センコウムシやゴトウムシの発生時期ですので、速やかな出材をお願いします。(東濃)

製品卸売標準価格 (7月期)

(単位:円)

樹種	用途	寸法(mm)			等級	m ³ 当り 価格	(本(枚)単価)	前月 比較
		長	巾	高				
スギ	柱	3000	105	105	1等	65,000	(2,150)	→
	間柱	3000	105	30	1等	65,000	(614)	→
ヒノキ	土台	4000	105	105	特等	65,000	(2,867)	→
		3000	120	120	特等	60,000	(2,592)	→
		3000	120	120	(東濃松) 特等	65,000	(2,808)	→
		6000	120	120	特等	120,000	(10,368)	→
W集 ウ成 ド材	柱	3000	105	105	国産5層	59,000	(1,950)	→
		3000	120	120	国産5層	60,000	(2,580)	→

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場 全てKD材)

外材市況 (7月期)

1㎡当り(価格単価:100円)

樹種	規格	価格	樹種	規格	価格
米松	SSタイプ	284	米栂	へム(アラスカ産)	281
	コースト(目荒)	306	米ひば	ポール	295

日刊木材新聞調べ 名古屋標準相場(径級は30cm上、米松コーストのみ大阪相場)

大径材

木材用語一口メモ

原木の末口(木の先側)直径が14cm未満のものを小径木、14~18cmを柱取り材、18~28cmを中目材、30cm以上を尺上材、40cm前後以上になると大径材と呼びます。近年は人工林資源の成熟に伴い立木の径化が進行しているため、大径材の供給量の増加が予想されます。

(参考)日刊木材新聞社 木材・建築用語辞典

